



森林×金融セミナー

ESG 投資でどうなる世界の森林

～お金の流れが変われば森林減少は止まるのか～

本セミナーでは、世界の金融資本市場の動向や日本国内の金融界の動き、そして森林資源や森林地域に由来する資源を開発している企業にとって、今後どんな対応が求められるようになるのか、などについて専門家を交えて考えたいと思います。

■日時・会場

2019年12月5日（木） 13:30～17:00（開場 13:00）
早稲田大学 小野記念講堂（地下2階）

■プログラム

（敬称略）

13:30 開会、主旨説明

第一部 金融が取り組むサプライチェーン改革

講演1：ESG投資を含む金融界の動き

高崎経済大学経済学部教授 水口 剛

講演2：長期投資家の具体的な取組（サプライチェーン・エンゲージメント）

りそな銀行アセットマネジメント部責任投資グループグループリーダー 松原 稔

講演3：ESG調査から考える森林課題の観点

一般社団法人コレクティブ・アクション 代表理事 松川恵美

質疑応答、休憩

お知らせ：W-BRIDGE 事業成果報告「木材デューディリジェンス・ガイドンス」の紹介

15:25 第二部 金融の動きを受けて木材調達企業はどう動くか＜パネルディスカッション＞

（登壇者）

・高崎経済大学経済学部教授 水口 剛

・りそな銀行アセットマネジメント部責任投資グループグループリーダー 松原 稔

・一般社団法人コレクティブ・アクション 代表理事 松川恵美

・住友林業株式会社サステナビリティ推進室 室長 飯塚 優子

・積水ハウス株式会社環境推進部 部長 佐々木 正顕

＞コーディネーター：九州大学熱帯農学研究センター 准教授 百村帝彦

まとめ

早稲田大学環境総合研究センターW-BRIDGE プロジェクト副代表 岡田 久典

17:00 閉会

司会： 坂本有希（地球・人間環境フォーラム）

■主催

早稲田大学環境総合研究センターW-BRIDGE プロジェクト、九州大学熱帯農学研究センター、
認定 NPO 法人 国際環境 NGO FoE Japan

■協力 一般財団法人 地球・人間環境フォーラム、フェアウッド・パートナーズ

■講師プロフィール（敬称略）

水口 剛／高崎経済大学経済学部 教授

1984 年筑波大学卒業。博士（経営学：明治大学）。商社、監査法人等の勤務を経て、97 年高崎経済大学経済学部講師。08 年より現職。専門は責任投資、非財務情報開示。環境省・グリーンボンドに関する検討会座長、ESG 金融懇談会委員等を歴任。環境監査研究会監事、日本サステナブル投資フォーラム共同代表理事、パブリックリソース財団理事、環境パートナーシップ会議理事などを務める。主な著書に『ESG 投資－新しい資本主義のかたち』（日本経済新聞出版社）、『責任ある投資－資金の流れで未来を変える』（岩波書店）、『サステナブルファイナンスの時代－ESG/SDGs と債券市場』（編著、きんざい）など

松原 稔／りそな銀行 アセットマネジメント部 責任投資グループ グループリーダー

1991 年 4 月にりそな銀行入行、年金信託運用部配属。以降、投資開発室及び公的資金運用部、年金信託運用部、信託財産運用部、運用統括部で運用管理、企画を担当。2017 年 4 月より現職。2000 年年金資金運用研究センター客員研究員、2005 年年金総合研究センター客員研究員。MPT フォーラム代表幹事、持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則運用・証券・投資銀行業務ワーキンググループ共同座長・運営委員。WICI ジャパン「統合報告優良企業表彰」審査委員会委員他

松川恵美／一般社団法人コレクティブ・アクション 代表理事

2019 年 12 月一般社団法人コレクティブ・アクション設立、代表理事。2011 年 11 月（株）にグリッド&ファイナンス・アドバイザーズ設立。ESG、金融イノベーションに関わるコンサルティングを提供。（株）QUICK の ESG 研究所立上げに携わり機関投資家、企業向けアドバイザーに従事。2017 年 10 月環境省「環境報告ガイドライン及び環境会計ガイドライン改定に関する検討会」委員。TCFD コンソーシアム、JCI（気候変動イニシアチブ）などに賛同。東京外国語大学ロシア語学科卒業

飯塚優子／住友林業株式会社 サステナビリティ推進室 室長

大学卒業後電機メーカーに入社、スピーチライター、広報、渉外や IR・CSR など、主にコミュニケーションに携わる業務を担当。外資系企業で CSR、広報などを統括するコミュニケーション本部長を経て 2012 年 2 月住友林業入社。コーポレートコミュニケーション室で広報、CSR の責任者を務めた後、2015 年 4 月より現職。SDGs と連動した中期経営計画サステナビリティ編の策定・推進や ISO14001 事務局として環境管理などを行うほか、木材調達、SRI 対応、サステナビリティレポート発行、植樹活動などの社会貢献プログラムを担当する部署を統括している。2017 年 2 月よりスーパーグローバルハイスクール宮城県立気仙沼高校の民間指導委員

佐々木正顕／積水ハウス株式会社 環境推進部 部長

関西大学法学部卒業後、税理士事務所を経て 1989 年積水ハウス入社。総務部にて法務・株式部門担当。1996 年から 2 年間、関西経済連合会に出向し主任研究員として都市政策・地域振興や関西広域連携を推進。1999 年の環境推進部創設により現在に至る。2005 年からは持続可能性を核とした環境経営の社内浸透に努め、環境経営大賞も受賞した「木材調達ガイドライン」によるフェアウッド調達等を牽引。最近では「建設産業にとっての SDGs（日本建築センター 2019）」執筆に関わった他、社外委員委嘱や ESG 経営に関する社外講演も多数